

**文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム  
(健康長寿社会の実現に貢献する歯科医療人養成) 選定事業 健康長寿社会を担う歯科医学教育改革  
—死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築—  
連携総括シンポジウム 開催報告**

## 事業責任者より挨拶

本事業の最終年度における総まとめとして、2019年2月16日、17日に、歯学教育改革コンソーシアムの連携総括シンポジウムを岡山大学にて開催致しました。2日間の来場者は合計300名を超え、盛会裡に終了することが出来ました。これも、ご尽力を賜りました関係諸兄のお陰と感謝致しております。本シンポジウムでは、文部科学省高等教育局より西田憲史医学教育課長、また、厚生労働省医政局より、田口円裕歯科保健課長に特別講演を賜り、協力施設や連携大学、地域医療機関より多数の講師をお迎えして「死生学、がんの看取り・緩和医療、在宅の看取り」、「高度医療支援・周術期口腔機能管理実習の均てん化」、「在宅、訪問診療と地域包括ケア」、「多職種連携医療実習・生涯教育」をテーマに議論を頂きました。特に、死生学、緩和・終末期医療、リハ栄養に関する教育を歯学教育において取り入れることの重要性を再認識するとともに、介護、医療現場における多職種連携教育に関する課題を多数見出すことが出来ました。私からは、事業総括報告を行いました。本事業で何が達成されたかを精緻に検証し、今後の歯科医療や歯学教育の発展について議論する良い機会になったと考えております。本支援事業は今年度で終了となりますが、本事業にて設立致しました歯学教育改革コンソーシアムは継続的に活動し、今後も本事業の取組を連携大学や協力施設とともに推進していくことが決定されました。連携大学、協力施設の関係の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(事業責任者：窪木拓男)

## 連携総括シンポジウム 開会の辞

本総括シンポジウムは、岡山大学医療系キャンパス内のJ Hallで開催されました。槇野博史 岡山大学学長と那須保友 医歯薬学総合研究科長に開会の辞を頂きました。



## 連携総括シンポジウム 特別講演

特別講演1では、文部科学省高等教育局 西田憲史医学教育課長より「歯学教育の今後の方向性」について、特別講演2では、厚生労働省医政局 田口円裕歯科保健課長より「健康長寿を担う歯科医師の養成とあるべき歯科医師像」と題してご講演を賜り、特別講演3では、窪木事業責任者より、「文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム採択事業『健康長寿を担う歯科医学教育改革』の事業報告」が行われました。



## 連携総括シンポジウム シンポジウム 1

「死生学、がんの看取り・緩和医療、在宅の看取り」をテーマに、本事業開始当初よりご高配を頂いております清水哲郎先生（前 東京大学大学院人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター上廣死生学・応用倫理講座 特任教授・現 岩手保健医療大学 学長）を座長のお一人にお迎えし、東京大学大学院人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター上廣死生学・応用倫理講座 会田薫子先生より「臨床死生学と歯科医学」、岡山大学病院緩和支援医療科 松岡順治先生より「最善という名の最悪」、つばさクリニック理事長 中村幸伸先生より「最期まで本人らしく生きる」を支える。在宅看取りの取り組み、国立長寿医療研究センター歯科口腔先進医療開発センターの大野友久先生より「看取りと歯科」と題してご講演を賜りました。講演後は活発な討論が繰り広げられ、終末期医療においては医科歯科連携が非常に重要であるとの声が聞かれ、非常に有意義なシンポジウムとなりました。



## 連携総括シンポジウム シンポジウム 2

「本事業の「高度医療支援・周術期口腔機能管理実習」の均てん化を通して連携大学群の教育はどう変わったか」をテーマに、教育改革の実際について、連携大学群の中から、弘中祥司先生、石川健太郎先生（昭和大学）、高橋一郎先生（北海道大学）、長島正先生（大阪大学）、そして石崎明先生（岩手医科大学）に実例をご紹介いただきました。さらに、医学教育理論に基づき、カリキュラムデザインの視点から田口則宏先生（鹿児島大学）に、プロフェッショナルリズム教育の観点から宮田靖志先生（愛知医科大学）に解説及びコメントを頂きました。病院医療にとどまらず地域医療も対象とし、健康長寿社会を担う歯科医療人育成の方略が各大学から示され、教育改革の実際について幅広く議論が交わされました。



## 連携総括シンポジウム シンポジウム 3

「在宅、訪問診療と地域包括ケア」をテーマに、医師の市橋亮一先生から在宅医療の現状について、管理栄養士の中村育子先生より訪問栄養指導、歯科医師の菊谷武先生より在宅歯科医療についてご講演頂きました。市橋先生より、在宅医療では、「食支援チーム」が退院時カンファレンスに参加する意義や、チームに歯科衛生士が加わることで歯科との連携が円滑に進んだ事例などをお話し頂きました。中村先生からは、在宅訪問栄養食事指導の重要性や在宅における管理栄養士の視点と嚥下評価を通じた歯科との連携について症例を交えてお話し頂きました。菊谷先生からは、在宅歯科医療における治療方針の設定と卒前・卒後教育の現状についてお話し頂きました。それぞれの先生から地域包括ケアにおける医科歯科連携の現状を症例を交えて紹介して頂いたことで、会場からの質疑応答も活発に行われました。



## 連携総括シンポジウム シンポジウム 4

「多職種連携医療実習・生涯教育」をテーマに、東京医科歯科大学の水口俊介先生、九州大学の柏崎晴彦先生、岡山大学の杉本恭子先生より講演いただきました。水口先生からは、東京医科歯科大学が主幹となって推進されている文部科学省課題解決型高度医療人材養成プログラム「健康長寿社会の実現に貢献する歯科医療人養成事業「健康長寿を育む歯学教育コンソーシアム」における5年間の活動状況と今後の展望について、柏崎先生からは、九州大学と福岡歯科大学との連携臨床実習について、また、杉本先生からは、岡山大学で実施している在宅・訪問歯科診療学外実習についてお話し頂きました。どの大学においても、実施にあたっての苦難や今後の課題が聞かれ、同様の取り組みを行っている連携大学の先生方から質疑応答が相次ぎ、会場は大いに盛り上がりしました。



### ❖ 鹿児島大学歯学部主催 第4回鹿児島国際歯学シンポジウムのお知らせ

文部科学省課題解決型高度医療人材養成プログラムの関連事業として、第4回鹿児島国際歯学シンポジウムを開催予定です。地域医療に貢献できる人材の育成をテーマに、「災害時医療と法歯学」ならびに「訪問診療の実情と鹿児島大学でのシミュレーション実習」についての講演を予定しております。多数の皆様のご参加をお待ちしております。どうぞよろしくお願いいたします。

日時：6 / 18 (火) 午後1時～4時 場所：鹿児島大学医学部鶴稜会館（鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1）

